



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1673号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」

RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 5月30日 夜間移動例会 インニエーションスピーチ 池澤 利男 君 場所 北京飯店
【次回予告】 6月6日 卓話「東北地震の報告」 椋 茂廣 様 (元会員)

【第1668例会】 平成25年5月23日(木) 【司会SAA】 高橋 清 君 【斉唱】 「我らの生業」
【ソングリーダー】 北砂 明彦 君 【ビジター】 古木 通夫 様(大和RC)

会長の時間 横澤 創 会長

ロータリークラブは、一定の制限はありますが、入会も自由、退会も自由です。入会した理由も人それぞれ、留まり続けている理由も人それぞれです。極めて脆弱な基盤に立つロータリークラブであります。100年を超える歴史を積み重ねる事が出来たのは、一体何故なのでしょう。

我がクラブには、35年間ロータリアンとしてロータリーが生活の一部、あるいは人生とお考えになっている方々もおります。一方ではロータリアン1年生もいます。ロータリーは、その多様性を呑み込みながら、ロータリーバッジで結ばれた信頼と友情が、上下のない平等な関係を作り上げていくことがその理由の一つです。

本年度の地区大会で、RI会長代理でお見えになった板橋敏雄氏が、若いころ新潟の地区大会に参加した時、青たすきを掛けた初老の紳士がニコニコしながら握手で出迎えてくれたそうです。その紳士が何と新潟銀行の頭取だと知らされ、ビジネスの世界ではありえない、世俗の論理を超越したロータリーという組織に本当に驚きましたと語っていました。

単年度制もその理由の一つです。一年ごとに会長、幹事が変わることによって心機一転が図られ、新鮮な気分を新年度を迎える事が出来ます。気に入ら

ない会長でも、一年我慢すれば新しい展望が開けると思える事が重要なのです。

もちろん、単年度制の弊害も多々言われております。事業の継続性を担保することの難しさ、長期計画策定の難しさ等が言われています。

しかし、特殊な事例、例えば〇周年記念に標準を合わせ、数年かけて準備をするような事例以外は、その年度のリーダーの色を出しながら運営する事が一番宜しいかと思えます。ロータリーは企業ではありませんので、あまりにガチガチの長期計画や、必要以上の効率性の追求は不向きであると思えます。

さて、後藤がバナー年度の地区大会で、ホストクラブ会長の館盛さんが歓迎の言葉で「曹源一滴水」という話をされました。山から出でる一滴の水は小川となり、やがて大河となって天下を潤す。つまり大河も山から出でた一滴の水がなければ存在しないのだと。我われロータリアンも一人一人は一滴の水であるが、大河を為す可能性があるのだと。そのようなお話でした。

大和中クラブという中位の河で、横澤・入江は一滴の水として一年間夢中で駆け抜けてきました。そして今その任務を終えようとしています。7月からは、少し下流に流されて、ゆったりとロータリーライフ

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 3名(敬称略)
43名	38名	92.68%	85.71%	6名	野口、竹内、梅野

を楽しみます。

嬉しい事に、我がクラブの上流には、頼もしい、元気のいい一滴水が大勢控えています。先週も我がクラブのゴルフ会の表彰式に出席して感じましたが、メンバーがガラッと変わっていて大変驚きました。まさに一滴水の粒ぞろいの印象で頼もしい限りでした。この素晴らしい一滴水達を、時には厳しく、時には励ましながら大事に育てることもリーダーたる岸・中島両君の重要な仕事です。

明治時代の海軍の名将 山本五十六元帥が良い言葉を残してくれました。

「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」正に、今に通じる金言です。岸・中島年度の事実上の出発の日である本日のクラブ協議会に当たり、お二人への饒の言葉とします。

両君の更なるご精進を心よりお願い申し上げます、会員の皆様には、岸・中島年度も本年度と変わらぬご指導ご鞭撻をお願いしまして会長の時間を終わります。

幹事報告 橋本 日吉 君

- ①GSE帰国報告会が6月7日に行われます。会長 幹事・財団委員長に案内が来ております。案内を回しますので興味のある方はご参加下さい。
- ②IMのDVDが来ております。ボックスに配布しておりますので、ご覧ください。

委員会報告

お祝いの方々

親睦活動委員会

北砂 明彦 委員

配偶者誕生日	入江 普美 夫人	5月28日
結婚記念日	高橋 清 君	5月27日
	富澤 克司 君	6月1日
創業記念日	富澤 克司 君	5月23日
	橋本 吉宣 君	6月5日

3分間スピーチ 石川 達男 君

本日は、3分間スピーチということで職業奉仕とは顧客満足度の追求であるとの観点から、私の仕事の事をお話したいと思っております。

印刷業とは勿論、お客様から依頼された印刷物を内容、数量、納期を間違いなく納めてお客さまか



らの満足を引き出す職業と言えます。品物は様々な紙製品が多く、名刺、はがき、封筒、伝票、カタログ、冊子、チラシ、ポスターなどです。

弊社は、お客様の要望を聞き、お客様の要求する内容に一番適した方法で印刷するようしております。それは、チラシの印刷のご注文でもA4のチラシ両面カラー100枚か1,000枚か10,000枚100,000枚かで印刷する機械が代わってくるからです。100枚はデジタルプリンターで2面付けで印刷した方が割安です。1,000枚、10,000枚オフセットの4色機で4面付け、100,000枚以上ですとオフセット 輸転機で8面付け両面同時印刷が最適価格となります。この様に同じチラシでも印刷枚数によって印刷する機械も単価も違ってきます。

印刷の内容はその品物によって様々ですが、現在はコンピューターの組版ソフトで制作しております。イラストレーターとかフオショップ、インデザインなどとお聞きになればパソコンの得意な方はご存知かと思えます。

また、印刷前に校正作業を行います。制作者がお客様からお預かりした原稿をタイピング、組版をして内容を確認し、それをお客様に内容確認してもらいますが、人間は往々にして勘違いを起こします。校正時に間違いを気づけばよいのですが、気が付かないまま印刷してしまいますと再印刷になってしまうことがよく起こってしまいます。印刷内容を間違いなく印刷するというのは印刷業の永遠の課題とも言えると思います。現在はお客さまからのデータ入稿ということが増えましたがやはり校正では間違いが出てきます。やはり本当の原稿はお客様の頭の中にあると言う事だと思えます。

また、自費出版や歌集などの冊子の印刷を依頼されることがあります。自費出版はお客様の人生の集大成といえますか想いがこもった物であり印象に残る物が多くありますが、今回は時間が無くまたの機会にお話をさせて頂きたいと思えます。

これからもより良い印刷物を皆様に提供して行くのが私共の社会的な役割だと思っております。本日はご清聴頂きありがとうございました。

第6回クラブ協議会

「次年度に向けて」

会長エレクト

岸 幸博 君



本日は、「次年度に向けて」ということですが、まずは地区協議会の話の先にさせていただきます。

4月21日、相模原の麻布大学で行われました。出席者は以下のとおりです。(敬称略)

会長部門	岸 幸博
幹事部門	中島 康次郎
クラブ奉仕部門	伊藤 英夫
会長エレクト部門	山崎 賢二
公共イメージ部門	辻 彰彦
会員増強部門	舘盛 道明
職業奉仕部門	鈴木 洋子
社会奉仕部門	橋本 日吉
R財団部門	原嶋 賢一郎
米山奨学部門	藤塚 勝明
R情報部門	横澤 創

この地区協議会は次年度に向けての準備、地区の方針を勉強する場です。相澤光春次年度ガバナーが主催します。ロン・D・バートン会長はRIテーマ「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」を掲げ、次のように話しています。「ロータリーは、私たち全員を受け入れられる包容力を持っています。一

方私たちは皆捧げることの出来る何かを持っています。人生やキャリアの各段階で私たちはロータリーを通じて、もっと多くのことを行い、もっと自分の力を発揮し、もっと何かを捧げることが出来ます。つまり自分の人生をより豊かにできます。これこそロータリーが私たちにもたらしてくれるものです。」と述べられました。

2013年からスタートする「未来の夢計画」は、行動する奉仕の絶好の機会となり、公共イメージ向上にもつながります。

さて、次年度に向けてですが、今年度リバージョン35の下、細則、内規、会計予算など多くの改革をしました。実践するのは7月からです。会計は前年度繰越金を入れず、単年度で完結します。繰越金は別途準備金に入ります。また奉仕会計では、青少年育成基金に繰越金の3分の1を繰り入れ、青少年育成事業が安定的に続けられるようにしました。この事業は奉仕活動の中心と考え、多くの青少年育成事業に発展して行くと思います。

卓話の内容は下記よりダウンロードできます。

<http://sdrv.ms/11k1svd>

スマイルボックス 番 桂柳 副委員長

本日 ¥41,800 累計 ¥915,470

柏木学園長 柏木 照明 様より

先週、卓話を頂戴いたしました。その折、謝礼としてお渡ししましたが、大和中RCの奉仕事業にとご寄付されました。ご報告と共に、御礼申し上げます。(報告者 横澤 創 君)

古木 通夫 様(大和RC)

久しぶりにおじゃまします。

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

大和クラブ古木様、ようこそお出で下さいました。本日の卓話の時間は、第6回クラブ協議会「次年度に向けて」です。岸幸博会長エレクト、どうぞ宜しくお願い致します。また、順調な船出と航海を期待いたします。

岸 幸博 君

本日は「次年度に向けて」という事です。宜しくお願いします。

中島 康次郎 君

次年度がカウントダウンになってまいりました。出遅れない様、フライングしない様頑張ります。皆様のご指導宜しくお願いします。

橋本 日吉 君

①古木通夫様、ようこそお出で頂きました。宜しくお願いします。

②6/23からの東慶州RC会長離就任式に15名程の訪問団で参加したいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

ゴルフ同好会会長 阿萬 正巳 君

5月17日、小田急藤沢ゴルフクラブにおきまして、

第92回ゴルフコンペを開催いたしました。新緑の中、天気も良く、絶好のゴルフ日和となり、12名に参加して頂き、とても楽しく過ごすことが出来ました。今回は、OB、池ポチャ、3/パットにはスマイルと決めたところ、皆さん積極的にご協力して下さい、ゴルフ同好会を代表してスマイルいたします。成績は優勝、後藤さん、2位北島さん、3位野口さん。また、今回優勝カップを横澤会長、藤塚様、舘盛様、石川 健次様、高橋 清様、梅田様から寄贈して頂きました。ありがとうございました。

後藤 定毅 君

先日のゴルフコンペで阿萬会長、北島プロや、並居る若手を押さえて優勝しました。老骨をムチ打って頑張った優勝は新ベリアとはいえ格別です。

ゴルフ同好会 北島 照介 君、阿萬 正巳 君

今回のゴルフコンペも皆様の参加をお待ちしております。ありがとうございました。

富澤 克司 君

結婚記念日、創業記念日のお祝い、ダブルでありがとうございます。

高橋 清 君

結婚記念日のお祝い頂きましてありがとうございます。夫婦二人の生活。トラブルもなく平穏な毎日です。

北島 照介 君

創業記念祝って頂きありがとうございます。なんとなく36年たちました。

第92回ゴルフコンペ

5月17日(金)小田急藤沢ゴルフクラブ

成績 1位 後藤 定毅 君、2位 北島 照介 君、3位 野口 宏 君



No. 8

クラブ研修リーダー 後藤 定毅

ロータリーの慣例について②

「出席を旨とする」という慣例は、すでに初期においてもロータリアンは、出席がクラブ活動の根本であると考え、4回連続して例会に欠席すると会員の資格を失うべきものとする、という申し合わせを行っています。そもそも、今こうしてロータリーがあるのは、営々と「ロータリー哲学の探求と実践」が、常に行われてきたところにあつて、つまり、ロータリーは単なる社交寄付クラブではなく、「ロータリー哲学」を根底に置くクラブということです。望ましいことは、一業種一人制の職業の代表者としてロータリーで学んだものを、自分も励むと共に人にも勧めて、その精神を普及しなければならない責任を持つということです。そしてそれを生活の中で生かしていくためには、最低1週間に1回は例会が必要であり、メイクアップを含めた出席が要求され、意識的にせよ無意識的にせよこれを受け入れられない会員は、クラブから立ち去る他はないほど、厳しい定めをしているのです。

それと「会合の時間厳守」ですが、ロータリアンの時間厳守は、ロータリアンの信用を高める一要因となっています。すなわち時間に遅れることは、他の人の時間を空費させることであり、相手の身になって考えることをその精神的な構えとしているロータリアンには、好ましいことではないことは明白です。

最後の「例会で食事を共にすること」ですが、この慣例は古い文献によると、1905年代には、もう既に始まっていたようです。シカゴクラブの会員にチャールズ・A・ニュートンという人がいて、たまたま遅刻してきたのだそうです。誰かが「みんな時間どおりに集まっているのに、なんでひとり遅刻してきたんだ。」と非難したところ、「ごめん、許してくれ、朝から何も食べてなかったので、腹が減っては戦にならないので、食事をしている間に遅れてしまったんだ。」と答えたそうです。そうしたら誰かがまた、「なるほど、12時に集まって1時まで待つというのは大変だ、どうだろう、それではみんなと一緒に食事をするようにしたら。」ということになり、1度食事をしてみたら、お互いの気分が更に開放的になり、親睦の実が大変にあがったということです。思いますに、この話には大きな示唆が含まれているようです。先ず何故遅刻をしたかと文句をはっきり言う。それに対して理由を明確に反論する。そして、お互いがお互いの主張をぶっつけ合つて、そこから共に生きられるような親睦への道がないかを模索し合い、妥協点を見出す努力がされたのです。このことの中に、仲間としてのロータリーの友情の原点をみるような思いがするのは、思い過ごしでしょうか。